

デジタルトランスフォーメーション（DX）推進の取組み

成長の共創 ～おきなわの成長とともに創る

 おきなわフィナンシャルグループ

2023年 2月 6日制定
2024年12月11日改訂
2025年 1月23日改訂

 OKIGIN 株式会社 **おきぎん** エス・ピー・オー

はじめに

弊社は、企業理念である「尊重と情熱」をもとに、D X 推進に積極的に取り組んでおります。私たちは単なる技術の進化を追い求めるのではなく、その先にある人と人のつながりを大切に、業務プロセスの効率化と生産性向上を図っています。

昨今、お客さまのニーズは多様化し、I T 技術の進化もますます加速しています。そのニーズに応えるべく、常に進化と成長が求められます。職員一人ひとりが成長を感じ、豊かな心と広い視野を持ち、お客さまと接することのできる職員の育成を目指しております。こうした取り組みが、新しい挑戦を続け、企業の未来を切り拓く力になると考えております。

現状認識

▽外部環境

- ◎サイバー攻撃、情報漏えいなどのサイバーセキュリティ対策への対応
- ◎異業種の参入による競争の激化（リスク）
- ◎A I、ノーコードの躍進

▽内部環境

- ◎おきなわフィナンシャルグループ 総合力で地域の課題解決
- ◎既存ビジネスモデルの限界・・・収益力の低下
 - ⇒従来の「ソフト開発・機器販売モデル」から「長期契約に基づく安定収益モデル」へビジネスモデルの変革
 - ⇒ネットワーク構築案件強化、ニアショア開発への取組み

1.DX推進の方向性

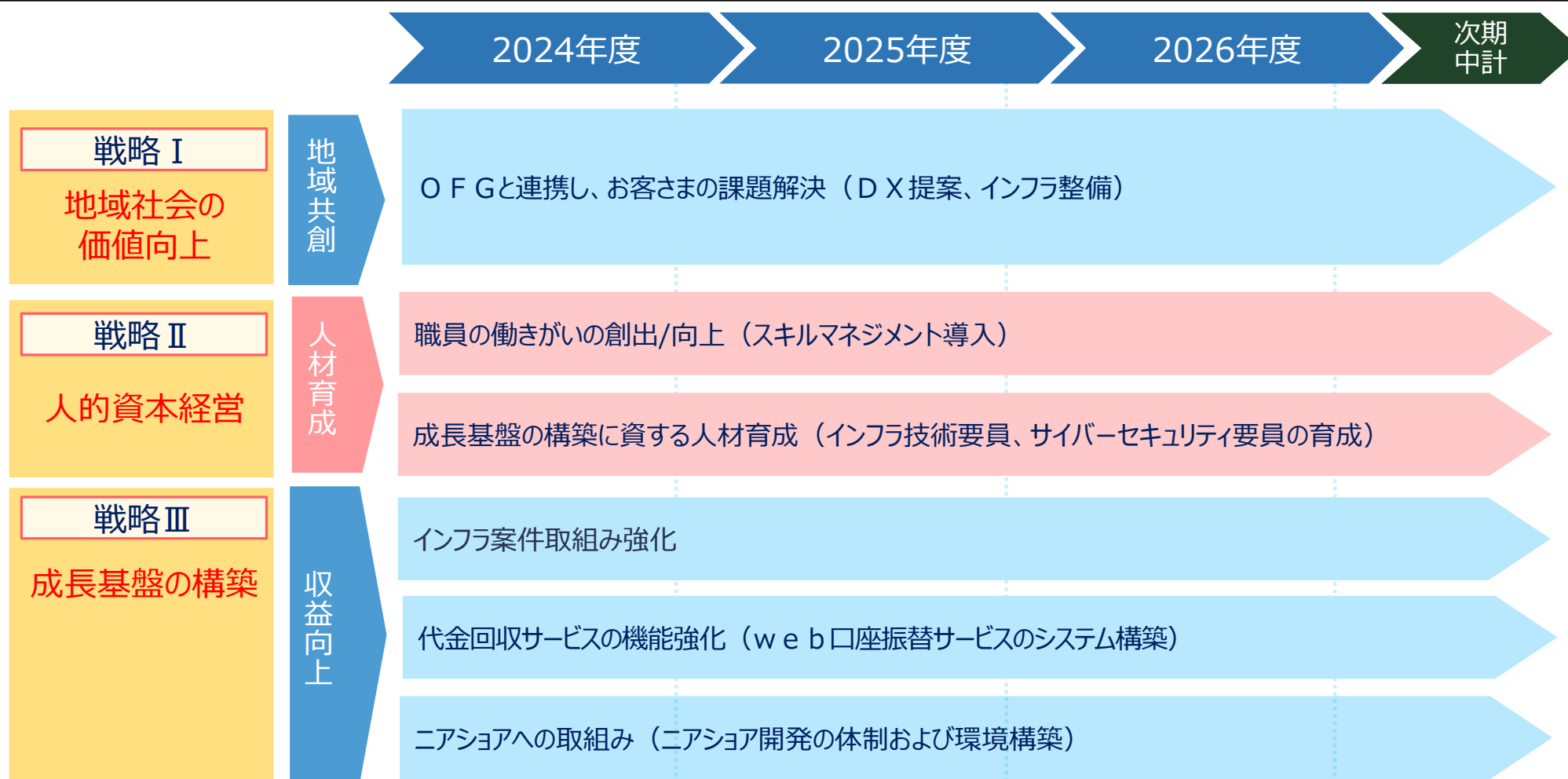
- 当社が目指す姿に対し、第2次中期経営計画（2024年～2027年）にて、お客さま・地域への新たな価値提供に繋がるDX施策を計画・推進しています。

名 称	第2次 中期経営計画 成長の共創 ～おきなわの成長をともに創る
期 間	2024年4月 ～ 2027年3月
ビジョン	I C Tを活用して、デジタルトランスフォーメーション（D X）を実現し、 地域社会の成長に貢献する。
基本戦略	戦 略 I 地域社会の価値向上 ● 地域民間企業へのD X提案、インフラ整備に取り組むことで、地域社会の価値向上につなげます。 戦 略 II 人的資本経営 ● 成長基盤の構築に関する人材育成（インフラ技術者、サイバーセキュリティ要員）を行い職員のスキル向上を図る。 戦 略 III 成長基盤の構築 ● O F Gと連携し、総合的なネットワーク構築やサイバーセキュリティ環境構築を提供する。

第2次中期経営計画より抜粋

2.DX戦略ロードマップ

- 経営ビジョンを実現するために、社内DXを推進し業務効率化を目指します。また各種研修へ積極的に参加し、職員のスキル向上を図ることで将来目指している姿として「地域社会の価値向上（地域民間企業へのDX提案、インフラ整備）」につなげます。



第2次 中期経営計画より抜粋

3.自社のDX推進の取組み

➤ DXソリューションを活用することで、生産性向上を図るとともに 業務改善に取り組んでおります。

① 自社システムのデータ活用

代金回収システムのデータ等を活用し、営業担当者にて取引先業種等を利用して、データ分析を加えた営業戦略を立案。

②リモートワークの環境整備

テレワークの取組みとして、リモートワークの環境整備を行った。

③電子契約システム導入に向け環境整備

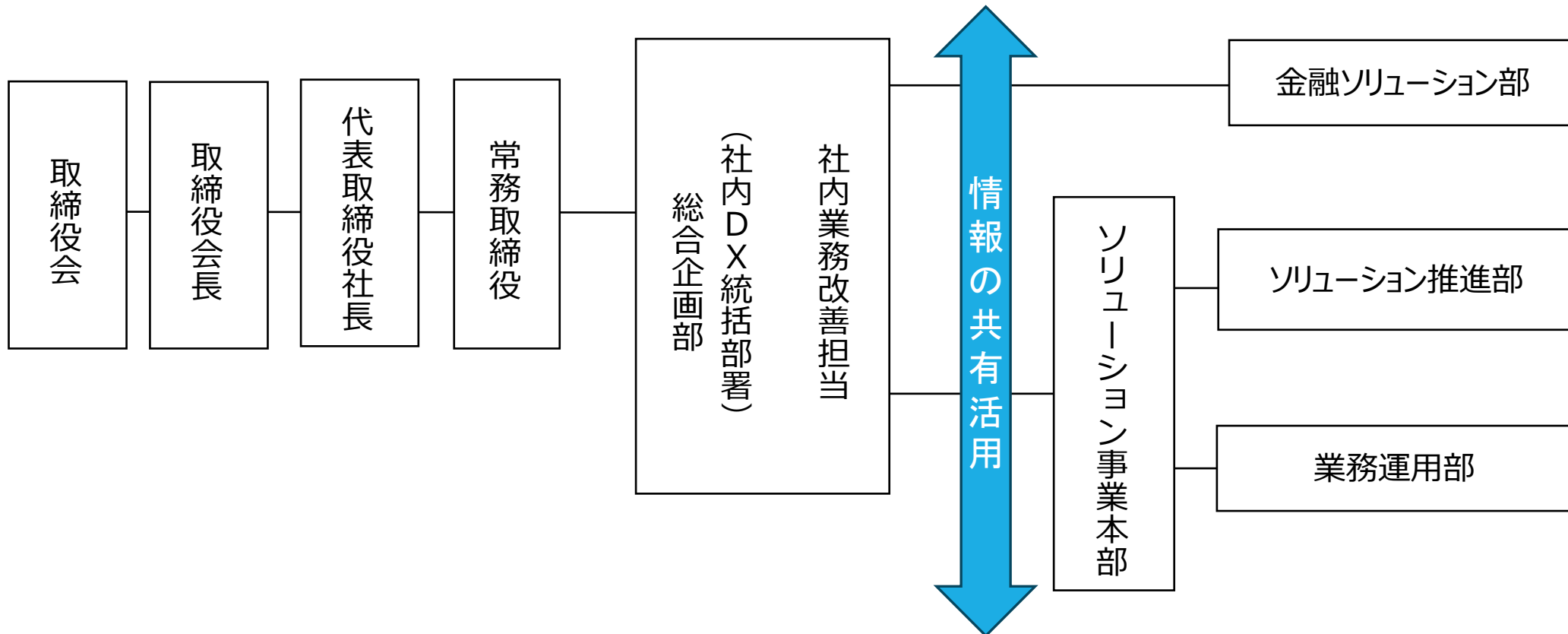
ペーパーレス化、業務効率化の取組みとして、電子契約システムの環境整備を行っております。

④社内業務改善の環境整備

業務効率化の取組みとして、D Xを活用した社内業務の見直しを行っております。

4.DX推進体制

- 総合企画部（社内横断的にDX統括）は社内業務改善担当部署として、先行して業務効率化にむけて業務精査（「廃止」、「簡素化」、「DX化」など）を行い社内DX（業務効率化）の取組みを行っております。
- 今後は情報共有活用を行い、全部署（金融ソリューション部、ソリューション推進部、業務運用部）で社内DX促進にむけた取組みを展開してまいります。



4-1.DX推進体制 DX推進人材

- DX推進人材を、当社では4つ定義し資格取得・研修受講を推奨します。
- 2026年度までにDX推進人材の育成を目指します。

DX推進人材の定義

ITコーディネーター	インフラ技術者
DXの企画・立案・推進等	インフラ技術習得
データアナリスト	サイバーセキュリティ
デジタル技術や収集した情報を分析するプロフェッショナル	サイバーセキュリティの技術習得

5.DX推進の環境整備

① テレワーク環境整備

DXソリューションの導入を推進するとともに、テレワークへの取組み対応として、社内のサテライトオフィスの整備を行いました。

具体的には、テレワークに対応するネットワーク環境の構築、フリーアドレス等を起点とした業務改革として、机の代替えを行った。

② 電子契約システム環境整備

電子契約システムの導入の取組みとして、ネットワーク環境構築、業務見直しを行っています。

具体的には、電子契約システムに対応するネットワーク環境の構築、ペーパーレス化（書面契約から電子契約）に向け業務フローの検討を行っています。

③ 社内業務改善の環境整備

業務改善の取組として、既存業務の洗い出し、見直しを行っています。

具体的には、紙媒体で行っている業務のペーパーレス化（書面から電子化）に向けて業務フローの検討業務システム化、既存業務でのデータ共有検討（業務改革準備）を行っています。

6.KPI(DX推進指標)

① D X 推進

販売・仕入の請求書等を紙媒体から電子化に変更後、データ活用し特定の業務プロセスにかかる時間短縮を図る。

2024年度：10% 2025年度：30% 2026年度：50%

② 人材育成

項 目	指 標	2023年度実績	2026年度予定
成長基盤の構築	I Tコーディネータ	2名	6名
	インフラ技術要員育成	0名	3名
	サイバーセキュリティ要員育成	0名	3名
	データアナリスト要員育成	0名	2名

経営会議にて、進捗状況確認、成果の評価、課題対応策の設定、対応策の実行を進めます。

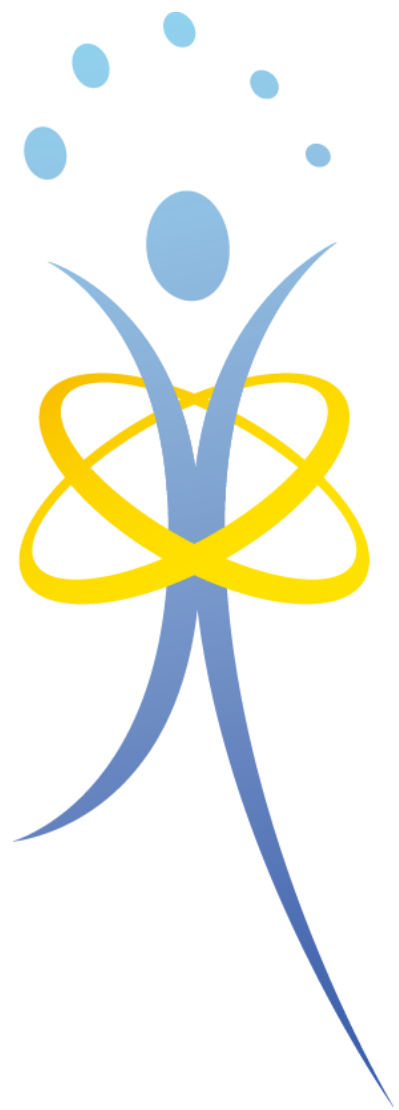
7.経営者DX推進メッセージ

昨今、I T人材の不足やI T技術の急速な進化が大きな課題となっており、弊社においても、人手不足や最新技術への対応等の課題に直面しています。

これらの課題を解決するため、弊社ではD Xを推進することで、ペーパーレス化やアナログな作業のシステム化、業務プロセスの効率化と生産性向上、データ分析を活用した経営判断の精度向上に取り組んでおります。

また、職員が新しい技術に対応できるよう、定期的な研修やサポート体制を充実させ、職員と共に成長していくことで、企業全体の生産性向上を図り、今後も全社一丸となって持続的な成長を目指してまいります。

株式会社おきぎんエス・ピー・オー
代表取締役社長 砂川 雄一郎



ORIGIN
SPO